

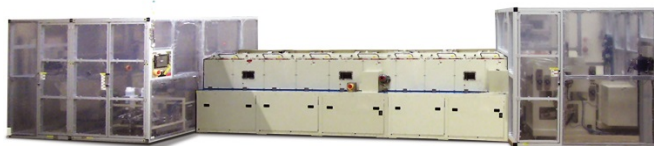
## 燃料電池市場へのビジネス展開を加速

### ～直接塗工法による燃料電池の量産装置を重点顧客に納入～

株式会社SCREENファインテックソリューションズ（以下、SCREEN FT）はこのほど、固体高分子形燃料電池<sup>※1</sup>（以下、燃料電池）の電解質膜に、電極触媒を直接塗工・乾燥させることが可能な製造装置を開発。燃料電池の量産化を強力に支援するこの装置を、重点顧客に納入しました。当社は、今回の受注・納入を足掛かりに、燃料電池自動車や家庭用燃料電池（エネファーム<sup>※2</sup>）を中心に需要の高まる燃料電池市場へのビジネス展開を加速させます。

#### RTシリーズ

☆この画像の印刷用データ（解像度300dpi）は、下記URLよりダウンロードできます。  
([www.screen.co.jp/press/download/FT161117.zip](http://www.screen.co.jp/press/download/FT161117.zip))



近年、エネルギー供給の安定化、地球温暖化への対策、産業競争力の強化といった課題の解決に向け、水素を日常生活や産業活動において活用する「水素社会」の実現を目指す中で、燃料電池に期待が寄せられています。燃料電池の市場は、2014年度の1,363億円に対し、2030年には6兆4,923億円規模に拡大すると予測されています。特に、2014年から販売が開始されている燃料電池自動車は、2030年には全世界で累計80万台、省エネを促進する家庭用燃料電池（エネファーム）は、2030年には530万台が普及すると見込まれています。そのため、今後の燃料電池の普及・拡大を見据え、製造工程の短縮やコストの低減に向けた、新たな技術の確立が求められています。

このような動向を背景に当社は、2013年からNEDO<sup>※3</sup>の助成を受けながら燃料電池の量産製造技術の開発を開始。約8割もの世界シェアを誇るコーターデベロッパーで培った塗布・乾燥技術とノウハウを活用し、従来は実現困難とされていた、電解質膜に電極触媒を直接塗工・乾燥する技術開発に成功し、同技術を搭載した燃料電池製造装置「RTシリーズ」を開発しました。この装置は、燃料電池に使用される触媒層付き膜<sup>※4</sup>をロールtoロール方式で連続生産できるため、生産性の大幅な向上と生産コストの低減を同時に実現。さらに電極寸法、欠陥、膜厚などの検査装置を組み込むことによって、品質管理も同時に行える装置となっています。

当社は、燃料電池の量産化を加速させる「RTシリーズ」の出荷を2016年度に開始しており、既に重点顧客の生産ラインで稼働しています。当社は今後、同装置のさらなる稼働実績を重ね、燃料電池市場におけるデファクトスタンダードを目指します。そして、持続可能な水素社会の実現に向け、活性化する燃料電池市場におけるビジネスの拡大を図り、同分野の発展に貢献していきます。

※1 イオン伝導性を持つ高分子膜（イオン交換膜）を電解質として使用する燃料電池（Polymer Electrolyte Fuel Cell：PEFC）

※2 エネファームは大阪ガス株式会社、東京ガス株式会社、JX 日鉱日石エネルギー株式会社の登録商標です。

※3 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

※4 触媒層と電解質膜で構成された燃料電池用電極膜（Catalyst Coated Membrane：CCM）

● 本件についてのお問い合わせ先

株式会社SCREENファインテックソリューションズ 事業推進部 Tel: 075-417-2570 / [fpdinfo@screen.co.jp](mailto:fpdinfo@screen.co.jp)